



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

子どもたちに持続可能な未来をつくる能力・態度を育むことを目的として、生活科・総合的な学習の時間の中で、環境教育・地域共生を中心としたESDの視点にたった学習活動の工夫を行い、「自然・人・社会とかかわる」ことを大きな柱とした教育活動を全学年で計画的に実施している。

【各学年の主たる学習活動】

【1年】

- ・「しぜんとともにだちになろう」 ・栽培活動、季節単元  
＜＜自然・地域・身の回りの人々への関心＞＞
- ①四季の移り変わりに関心をもち、自然に関わったり、自然のもので遊んだりすることを楽しむ。
  - ②自然・地域・人との関わりの中で、四季の移り変わり、人の営み、自分と地域や人々との関わりなどに気付く。
  - ③自分の思いや願いを自分なりの言葉で伝えようとする。

【2年】

- ・「まちたんけん」 ・栽培活動、季節単元  
＜＜自然・地域・身の回りの人への関心＞＞
- ①四季の移り変わりに関心をもち、進んで栽培活動をしたり、自然に関わったり、自然のもので遊んだりすることを楽しむ。
  - ②自然・地域・人との関わりの中で、四季の移り変わり、人の営み、自分と地域や人々との関わりなどに気付き、進んで活動につなげていく。
  - ③自分の思いや願いを伝える相手を意識して、言葉で伝えようとする。

【3年】

- 「連光寺調査隊 わたしたちの連光寺」  
＜＜地域の人とのかかわり＞＞
- ①地域の施設や商店、都立多摩桜の丘学園などに関心をもち、地域を好きになる。
  - ②地域の人々と仲良くなるための計画を考え、やってみる。
  - ③地域に出かけたりやってみたりして思ったことを言葉にする。
  - ④調べたり交流したりしたことを2年生、保護者、地域、お世話になった施設の方々に向けて発表会を行う。

【4年】

- 「川は自然の宝箱」  
＜＜生態系・多様性＞＞
- ①多摩川について自分なりの興味・関心を持つ。
  - ②多摩川の自然や生き物のつながりについて調べ、自分なりに多摩川をとらえる。
  - ③調べて考えたことを自分の言葉で表現する。
  - ④授業協力者・保護者・3年生に対して、学習内容を発信する。

【5年】

「連光寺 SATOYAMA プロジェクト」

＜＜生態系・多様性・共生＞＞

- ①地域の里山について興味を持ってテーマを設定し、科学的な方法で追究する。  
(森林、谷戸田)
- ②地域の里山の生態系や多様性に気付く。
- ③人と自然の「共生」「環境保全」について自分なりの考えを持ち表現する。
- ④授業協力者・保護者・市内他校、学校の森子どもサミットにおいて都外他校に対して、学習内容を発信する。

【6年】

「だれにも優しい未来のエネルギー」

＜＜社会を考える＞＞

- ①エネルギー問題について、自分の興味や関心をもとに、問題意識をもって課題を設定し、見通しをもちながら追究する。
- ②専門家とのかかわりや調査活動をとおして課題を解決し、調べたことを伝える。
- ③我が国のエネルギー問題について自分なりの考えを持ち表現する。
- ④授業協力者・保護者、多摩市こどもみらい会議において市内他校に対して、学習内容を発信する。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ( )